

全校朝会の話 5月13日（火）

今週18日（日）は開校記念日です。石東小は今年が147周年になります。

今日は、石東小の今までについてお話します。スライド見ながら聞いてください。

明治11年（1878年）に谷原村と田中村の名前をとって谷田（こくでん）小学校ができました。左が谷田小学校の校章、右が今の石東小の校章です。校章をみると、谷田と石東の学校の名前が見えてきますね。長命寺の一部を仮校舎として、40人の児童と一人の先生で開校したそうです。

写真は、明治42年度6年生の写真です。洋服も今と違って着物です。男女一緒にいます。真ん中にいらっしゃるのが担任の先生でしょうか。

大正の頃の写真です。校舎の前に全校児童が集まっています。当時の校舎は、教室、職員室、トイレを合わせて8室でした。その頃にも通知表があり、1年生から6年生まで一冊の本のようになっていたそうです。この写真の一年後、関東大震災があり、校舎が傾く被害を出しました。このころに今の石東小の校章が決まります。

昭和の初めの頃の写真です。この頃は児童数300人くらいで、校舎は一階建てと二階建ての木造校舎でした。授業の様子を見ると、机が2人掛けで、木で作られていますね。

昭和31年に石東中と石東小の位置が交換されます、今の場所に石東小が移りました。石神井東中学校は、石東小、光和小、谷原小が通学区域だったため、

生徒が通学しやすいように、石東中と石東小の校舎を交換するようになったのです。そして、昭和３３年に校歌もできました。昭和４７年頃児童数が一番多かった頃の校舎です。今の芝生の辺りにも校舎があり、１年生は８クラスまでありました。

その後、今の南校舎の一部完成して、現在の校舎ができ、色も桜色と若草色の校舎になりました。今までの石東小の歴史を知って、さらに石東小が好きになってもらいたいです。